

=====

一般社団法人日本アセットマネジメント協会  
J A A Mメールマガジン (2023年度第20号)  
2024.2.27発行

=====

2月15日に開催しました「令和6年能登半島地震、JAAM調査団・緊急報告会（オンライン）」には、450名近くの方々に  
ご出席いただき、ありがとうございました。

報告会開会にあたり、小林潔司JAAM会長からご挨拶し、そののち、能登町の大森凡世町長より、今回のJAAM調査団派  
遣について、お言葉をいただきました。

また、今回の調査等に対応して頂いた9社の代表者から報告、所見を述べていただくとともに、これをもとに、植野芳彦  
JAAM地域アセットマネジメント推進委員長のコーディネートで、出席者間の意見交換を行っていただきました。

2時間半の長時間にわたるオンライン報告会となりましたが、聴講して頂きました皆様から有効な報告会であったとのお  
声をいただき、事務局として、ほっとしております。

本セミナーが今後の復旧、復興の一助となりますことを願っております。

今回のメールマガジンは、上記の報告会でも説明いただいた「自立循環型バイオトイレの設置、管理」について、株式会  
社長大 海外事業本部 サステナビリティ事業推進部 中溪 宏一様から寄稿していただきました。

株式会社長大 海外事業本部 サステナビリティ事業推進部 中溪 宏一

能登町AQトイレ設置、管理作業を通して感じたことなどを以下に報告いたします。

この度私は能登半島地震の被害を受けた能登町の災害支援として弊社が扱う自立循環型バイオトイレAQ (Aqua  
Quality) の設置、管理業務で1/20-2/2の間、能登町に入らせて頂きました。

1/23には3箇所の避難所に計4基のAQトイレを設置完了、翌日、1/24には大森能登町長が今回の設置避難所の一つ、  
神野公民館のAQトイレをご視察下さいました。メンテが比較的容易で平常時にも災害時にも使用できることを確認して  
いただきました。

その後は計4基のAQトイレを毎日巡回し、トイレが正常に機能しているかの確認と、手洗いとウォシュレットの水を  
貯めているタンクへの給水作業を行いました。毎日給水に通ううちに、避難所の方々も笑顔で挨拶してくれる様になりま  
した。窓から中の様子を見ると、皆さんで何かしらの話し合いをしている姿を見ることが多く、ご苦勞の多い避難所生活  
の中、しっかりとコミュニケーションを取り合っている様子が伺えました。

巡回の途中、避難所で出会う住民の方々との立ち話は、今回の震災の様子を知る貴重な機会でした。

- ・米と湧水があるから不安は少ない。
- ・正月で食材揃えていたから、避難所で、皆で食材を持ち寄って料理して集まる機会は、普段独りで寂しいお年寄りには、逆に有難い面もあったのではないか。
- ・震度7には流石に驚いた。皆、直感的に家の外に出た。独居のお年寄りの方々を皆で手分けして公民館に車で運び込んだ。

「田舎は不便だけど、こういった災害には都会に比べて強いよ。」

と、心中気苦勞も多いであろう中、終始笑顔でお話されている様子を拝見し、能登町に暮らす方々の生命力、人間力を感  
じました。

現在、AQトイレを設置して約1ヶ月が経ち、お陰様で4基全て順調に稼働中です。便座が温かいだけでとても快適、  
ホテルのトイレみたいに綺麗なトイレだ。等々の嬉しい感想を頂いています。

中でも、「避難所（公民館）のトイレでは、いつまた地震が来るか分からないという気持ちがあり、落ち着いて用が足

せない。このトイレ（AQトイレ）は頑丈そうだから、安心して用が足せて有り難い。もし地震が起こったら、ここに逃げ込もうかな。」というお言葉を頂いた際は、今回の地震がどれだけ怖かったのかということを知ることとなりました。

また、避難所の方がAQトイレを頻繁に使うことで、避難所内のトイレの流し水用に、近くの用水路に水を汲みに行く作業も半分に減り助かっている。というお言葉も頂きました。

今後、上下水道の復旧にどれ位の期間を要するかによりますが、長期に及ぶことも想定して、住民の方々との連携によるメンテナンスの手法を確立中です。

AQトイレは複合発酵技術という、文字通り、微生物の複合的な発酵による分解等の作用を活用した技術で、日本古来の味噌づくり、酒造り等にも通ずる発酵技術です。今回の設置の機会を通して、能登町の方達にこの技術に興味、関心を持って頂き、AQトイレのメンテナンスを自主的に、楽しみながらやって頂ける体制を構築出来れば幸いです。

また、今回の4基のAQトイレを水の調達出来ない地域に運び入れ、稼働させ、メンテナンスしていく経験、ノウハウは今後の災害支援や、水不足に悩む地域への技術導入に非常に役に立つ無形資産であり、このノウハウを記録として残すことの重要性を感じています。

最後に、2週間滞在して感じたことは、能登は昔ながらの暮らしぶり、営みが綿々と受け継がれている、日本の中でも非常に貴重な地域であるだろうことです。雪景色の中の里の風景は、とても美しいです。中には今回の震災で壊れてしまった重要文化財も多く存在する筈です。

そういった重要文化財だけでなく、食文化や祭りも含めた、古来からの能登町の文化を残すことは、この町の観光資源を守ることにもなり、未来への投資と言えると思います。AQトイレの普及と共に、そういった、この町の文化を、建築そのものの復旧作業含めて、残していく作業のお手伝いも出来れば素晴らしいと、今回の能登滞在を通して思った次第です。